



2026年3月13日

各 位

会 社 名 株式会社テロロジーホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 鈴木 達
(コード番号5133 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役副社長執行役員グループ経営本部長 廣谷 慎吾
電 話 03-3237-3437

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月15日に公表した2026年3月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親 会 社 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 9,700	百万円 450	百万円 450	百万円 280	円 銭 16.39
今回修正予想 (B)	10,385	546	654	352	20.58
増減額 (B - A)	685	96	204	72	
増減率 (%)	7.1	21.3	45.3	25.7	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	8,653	273	327	176	10.48

2. 修正の理由

売上高につきましては、サイバー攻撃などの脅威に対するセキュリティ意識の高まりから、当社グループが推進するOTセキュリティビジネスや独自のセキュリティサービスなどの受注活動が、国内大手製造業や社会インフラ事業者、官公庁などを中心に堅調に推移していることから増加しております。

また、好調なインバウンド需要の拡大により、宿泊施設、小売店、公共交通機関を中心とした受注活動により多言語リアルタイム映像通訳サービスを採用する企業が増加しているほか、官公庁や自治体、民間企業からの訪日外国人観光客を誘客するPR需要も高まっており、中国からのインバウンド需要の縮小はあるものの、売上高は前回発表した予想を上回る見込みとなりました。

利益面につきましては、地政学的リスクに伴う資材高騰及び円安の影響による輸入商品の仕入価格が上昇したほか、中長期的な経営戦略の実現に向けた人的資本への投資に伴う費用は増加しておりますが、一部の商品では仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁を図るなどの取り組みを行っております。

また、為替変動リスクに対しては、為替予約取引及び通貨スワップ取引などの為替対策を講じるなどしたことで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回発表した予想を上回る見込みとなりました。

(注) 上記予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上